

平成 29 年度 横浜市立脳卒中・神経脊椎センター
第 1 回市民講演会

せきちゅうそくわんしょう
小・中・高校生の脊柱側弯症

脊柱側弯症は、脊柱（背骨）が変形する病気で、小学校高学年から中学校に通学する時期の児童・生徒に最も多く発症します。進行して重症化すると外見的問題、腰・背部痛や呼吸器障害を起こし、手術による矯正が必要となるので、早期発見・早期治療が大切です。

この市民講演会は、お子さんが学校検診を受けた後に専門医の受診を勧められた方、お子さんの背中を見ていて気になることがある方には、ぜひ参加していただきたい内容となっています。

講演会概要



当講演会はよこはま健康
スタンプラリー対象事業です。

◆日時◆

平成 29 年 6 月 17 日（土） 10：30～11：30（10：00 開場）

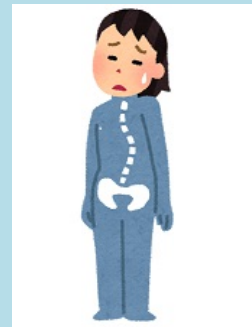
◆会場◆

県民共済みらいホール （横浜市中区桜木町 1-1-8-2 県民共済プラザビル 1 階）

JR根岸線「桜木町駅」下車徒歩 3 分
市営地下鉄ブルーライン「桜木町駅」下車徒歩 4 分
みなとみらい線「みなとみらい駅」下車徒歩 5 分

◆講演内容◆

小・中・高校生の脊柱側弯症
～側弯症を正しく理解するために～



◆参加方法◆

○当日直接会場へ（入場無料、申込み不要） 先着 300 人

※手話通訳・一時保育（対象：2 歳以上の未就学児）をご希望の方は 6 月 8 日（木）までに要申込み

申込み先 横浜市立脳卒中・神経脊椎センター 総務課
TEL：045-753-2500（代） FAX：045-753-2859
Eメール：by-no-kouen@city.yokohama.jp

講師紹介

講師 町田 正文 医師

横浜市立脳卒中・神経脊椎センター 脊椎脊髄外科医師

◆専門資格

日本整形外科学会専門医・脊椎脊髄病医
日本脊椎脊髄病学会指導医
日本リハビリテーション学会専門医
日本骨粗鬆症学会認定医

◆学会活動等

国際側弯症学会より Russell A.Hibbs Basic Research Award を受賞
米国側弯症学会より研究アワード受賞
日本整形外科学会学会奨励賞受賞
日本脊椎脊髄病学会学会奨励賞受賞、
1997年に米国カンザス大学整形外科客員教授

◆骨粗鬆症・脊柱変形外来実施日
毎週火曜日



町田 正文 医師

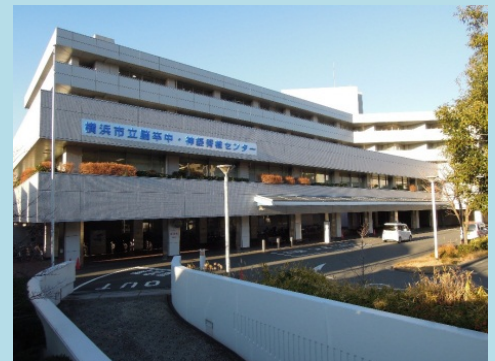
横浜市立脳卒中・神経脊椎センターについて

脳卒中・神経疾患と脊椎脊髄疾患、リハビリテーションの病院です。

＜主に対象となる症状＞

脳卒中…脳梗塞・脳出血・くも膜下出血など
神経疾患…めまい・頭痛・しびれ・麻痺・意識障害・
歩行障害・けいれん・もの忘れなど
脊髄脊髄疾患…腰痛・肩こり・手足のしびれなど

横浜市立脳卒中・神経脊椎センターでは、脳卒中や神経疾患、
脊椎疾患の予防や啓発を目的に市民講演会を開催しています。



■お問合せ先



横浜市立脳卒中・神経脊椎センター 総務課

〒235-0012 横浜市磯子区滝頭 1-2-1

TEL: 753-2500 (代表) FAX: 753-2859

ホームページ: <http://www.city.yokohama.lg.jp/byoin/nou/>

※ご取材いただける場合は、当日直接会場へお越しください。

お問合せ先

医療局病院経営本部 脳卒中・神経脊椎センター 総務課長 本間 明 Tel 045-753-2609